

ながたに暮らし体験記

懇親会とほたる鑑賞、
ついでに合同会議も。

5月27日(土)晴、来期の活動計画の合同会議とほたる鑑賞のため、新緑の中を長谷まで出かけました。

昨年は熊本震災復興従事のため参加できず、今回初の「来ちみなあハウス」お泊まり体験です。どんな建物だろうと興味津々でしたが、4LDKで玄関から右側に二間続きの和室+広縁があり、会議や懇親会などが開催できる十分な広さです。つい先日までは多くの方々が入り出して使われたとのことで、建物の傷んだところには手を入れてあり快適に利用できるようになっています。

到着してすぐに懇親会の準備を行い、持参した食材や「愛する会」からの差し入れで豪華な食卓になりました。(右の写真)懇親会では地域の話、終わったばかりの選挙の話、国会の話など話題が広がり盛り上がりしました。

宴もたけなわの午後8時頃、共助研メンバー3名は渡邊事務局長の案内でほたる鑑賞にでかけました。気温が低いためか少しのほたるしか見られず、数カ所案内して頂きましたが残念ながら同じ状況でした。代わりに満天の星空を見上げ、夜の明るい都会では経験できない星降る空を鑑賞しました。(翌週にはほたるの乱舞が見られたとのこと)

静かな夜を過ごし、翌日の合同会議は地域のイベントと重なったため、「愛する会」からは穴見会長と渡邊事務局長、共助研からは波木、森脇、濱田の5名で開催し、今期の活動予定を確認しました。また、「来ちみなあハウス」のさらなる活用と近くの遊休耕作地の活用を目的に貸農園計画を立案することになりました。

小さな拠点が大きな交流拠点に育てたいです。(濱田康男)



来ちみなあ 8号

「来ちみなあ」は、柴北上の県道から北に入った山際にある「来ちみなあハウス」(和洋室5室、ダイニングキッチン、バス、トイレ付住宅)での活動を紹介します。発行:「来ちみなあハウス」店子グループ

共助研からの伝言

「田圃回帰」から都市・農山村間の「対流」へと

「来ちみなあ7号」の発行が今年の3月。その後の年度末前後の業務繁忙期と、4年に一度の豊後大野市あがての選挙期間が重なって、いつの間にか初夏と言われる季節を迎えての「来ちみなあ8号」の発行となってしまいました。

選挙期間も終わった5月半ばに「愛する会」の定期総会(5/12)が開催され、今期の田植え・稲刈り・竹林整備等の活動方針が決まりましたが、共助研も、「愛する会」渡邊事務局長の出席も得て、年次総会(5/24)を開催しました。

今期も、長谷の皆さんや「愛する会」の皆さんとの交流を継続していく方針です。ただし、昨年「来ちみなあハウス」という交流の拠点ができました。今期は、この「来ちみなあハウス」を活用して、交流の内容と頻度を少し濃くしていきたい、すなわち「交流」から一歩進めて「対流」とも言える活動に広げていきたいと考えています。

その「対流」の第1歩として、来ちみなあハウスでの「私のコダワリ」トークというイベントを、6月24日(土)夕方に開催します。皆さんにも気軽に立ち寄っていただけるイベントです。是非、のぞいて下さい。

(波木健一)

ながたに風

25日の田植え、待ちよるよ
(みんなの田圃より)

いい場所ができたなあ

飲み会にはもってこいの場所、なんて言うのと叱られそうですが、本当にいい場所ができたなあと思いました。先日の懇親会での「来ちみなあハウス」初体験の感想です。

役員会にしろ何にしろ、各地区の公民館を持ち回りで使用していた頃に比べれば拠点が出来たことで活動が更に活発化していくのではと、監査役の立場から期待しているところです。

長谷地区は今、田植えのシーズンを迎えています。田植えの終わった田圃、これから水を引く田圃、代かきを始めた田圃とさまざまです。みんなの田圃には今日(8日)、安藤稲作班長によって水が入り始めました。田圃周りの草刈りを4日に済ませ、18日には体育館掃除とグラウンドの草刈りをして、みなさんをお迎えする準備完了です。

25日の田植え、沢山の方のご参加をお待ちしています。(稗田基雄)

「私のコダワリ」トーク 第1回

●「私のコダワリ」とは、日頃の暮らしの中で、個人的にこだわりを持って考えたり行ったりしていること。仕事、家事、趣味、娯楽、芸能など何でもありです。

●第1回は、「木の駅と地域通貨のお話し」と題して、共助研の濱田さんが30分トークします。

●6月24日(土)午後7時から、「来ちみなあハウス」で開催します。トークの後は続けて懇親会も。

●参加費500円。(食材差し入れでも可)

●お問い合わせは、店子グループ「管理人」まで。

・渡邊雪法(柴北川を愛する会・事務局長)

・波木健一(共助研・事務局)

